

多目的リカレント構法

概要・品質・性能

軸部材同士をヒンジ接合して三角錐状の単位架構の構造ユニットを造り、この構造ユニットを縦・横・斜め、上下に接続、拡張することで構造骨組とし、建築物、道路、軌道、橋、さらには人工地盤などを自然破壊することなく構築する。

構造ユニットの軸部材はすべて、1本のボルトにより、締め付けナットを装着したヒンジ付きボルトと接合されるため、軸部材同士を任意の角度で接合できる。また、支柱となる傾斜部材は伸縮可能で、標準化された何種類かの長さの軸材を組み合わせで連結することによって、三角錐状単位架構は傾斜地にも自由に設置できる。部材の標準化、組み立て、解体が容易で、部材のリユース、リカレント（再生・循環）もできる。

関連する接合装置、組立基礎・アースアンカーを別途掲載。



用途

- (1) 一般構造物
- (2) 人口地盤、立体歩車道
- (3) 浮き構造物

技術移転

- (1) 形態 特許実施権供与
- (2) 相手先 建築関係、レンタル業
- (3) 地域 国内・海外のいずれでもよい

実用化・情報

〔試作・実験〕 未了
 〔製造・販売実績〕 無し
 〔技術情報の提供〕 技術資料、パンフレット、特許公報等
 〔情報提供者〕 (株)小笠原設計 服部 好隆
 〔連絡先〕 (財)りそな中小企業振興財団 事務局
 TEL.03-3444-9541 FAX.03-3444-9546

特許等

特許査定：平成19年8月30日
 特許等権利者名：(株)小笠原設計
 特許第3867128号
 特許第3944552号
 特許第4032093号
 特願2006-287081号
 (平成19年10月29日特許査定) 他